

# 2022年度 企業支援および地域振興の取り組み

～地域密着型金融の取り組み結果～

2023年5月



# はじめに

当金庫は、『地域の皆さまと共に豊かな未来を創造します』という経営理念のもと、地域や企業の価値を高めるお手伝いによる「価値創造型金融」を進め、地域の皆さまの課題やニーズに積極的にお応えします。

また、信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を自覚し、「相互扶助」「共存共栄」の精神で「地域密着型金融の推進」に取り組んでまいります。

当金庫の取り組みの一部についてご紹介しますので、本資料を通じてご理解いただければと思います。

# お悩みごと相談に向けた取り組み

## 多様化するお客様ニーズへの寄添い①

～日常的な情報収集機能を高めてお客さまの課題解決につながる取り組み～

情報収集力を向上させ、本質的な事業者支援につながるために「事業サポート相談申込制度」を運用し、企業経営や補助金等、幅広い相談ニーズへの対応に取り組んでおります。

### デジタル・ITの活用による企業支援

地域企業の価値創出の新たな切り口として「デジタル支援サポート」の提供を開始。社内DX化やSNSによる集客、HP作成等、地域のお取引先企業から多くのご相談をいただき、デジタルを通じた課題解決や改善方法のご提案をしております。

### M&A等の事業承継支援

後継者不在や人材不足は地域の深刻な課題であり、M&Aや事業承継の需要が高まっています。そうした企業の潜在ニーズに対応するため、M&Aならびに事業承継の相談・仲介業務に取り組んでおります。

金融機関による窓口受付後、大手専門機関へ委託するケースが多い中、当金庫では内製化によるM&Aを実施しており、「安心して相談できる」とのお声をいただいております。



大地みらい信用金庫  
事業サポート

大地みらい信用金庫が事業者の皆さまをご支援します。  
万全のビジネスサポート体制で、あなたの夢の実現をご支援します！

<b>1 経営相談</b> ● 人材を確保したい ● 新規・再販エリアなど販路拡大を進めたい ● 現場（工場・店舗）改善をしたい (顧客対応や業務効率化を向上したい)	<b>2 販路・仕入先開拓</b> ● 新しい販路先・仕入れ先を見つけたい ● 販路に即する情報収集が知りたい ● 展示会・マッチング会の情報が知りたい
<b>3 技術相談</b> ● 自社の技術や製品を評価したい ● 特許について相談したい ● 技術的な課題を解決したい ● デジタル企業サポート (サイバー攻撃への対策等)	<b>4 創業・新規事業</b> ● 新しい事業を助めたい ● 創業を応援してほしい ● 新規業種に出張したい
<b>5 事業継承・M&amp;A</b> ● 事業承継の力を拡大してほしい ● 自社株を評価してほしい ● 承継者問題を解決したい	<b>6 海外進出・海外取引</b> ● 海外の企業と提携業務取引をしたい ● 海外に商品を売りたい ● 専門機関を紹介してほしい
<b>7 各種補助金</b> ● 補助金について教えてほしい ● 補助金の申請書の書き方をアドバイスしてほしい	

大地みらい信用金庫 事業サポート  
https://www.daimirai.co.jp



デジタル支援サポート

ABOUT DIGITAL SUPPORT SERVICE

お客様が直面している課題に具体案を提示しながら解決に取り組みます。

- 1 デジタル化に取り組みたいが、何からは始めるべきかわからない。...
- 2 デジタル化の必要性はわかるが、そもそも、どこに相談してよいか分からない。...
- 3 SNSを用いた新規顧客の認知獲得について知りたいけど、...
- 4 人手不足をデジタルの力で解決できないか、...
- 5 サイバー攻撃への基本的な対策はどうすればよいか分からない。
- 6 見積られた予算で効果を自動化できないか。

◆◆◆ 特徴 ◆◆◆

- ① 11人制のリサーチ、確保方法
- ✓ 実情にあった具体的な提案
- ② その目でも実績できるサービス紹介

https://www.daimirai.co.jp

# お悩みごと相談に向けた取り組み

## 多様化するお客さまニーズへの寄添い②

### ～信託業務による財産管理のお手伝い～

多様化しているお客さまお一人おひとりの人生に寄り添うため、相続や事業承継など様々なご相談にお応えできる相談体制の構築を進めています。

信託  
はじめました

あなたの相続・生前贈与をサポートします！

しんきん相続信託  
ころのバトン

しんきん生前信託  
ころのリボン

信託中央会館 信託相談センター  
大地みらい信用金庫  
http://www.daichimirai.co.jp

#### 「ころのバトン」

ご自分の将来やご家族の未来のために必要となる資金をあらかじめご準備できます。

簡単な手続きと迅速な受け取り

相続発生時に、あらかじめ指定した受取人が、資金を迅速に受け取れる。

#### 定期的な受取が可能

相続発生後、ご家族が一定の金額を定期的に受け取ることができる。またご契約のお客さま自身が、定時定額金を受け取ることも可能。

#### 元本保証

全額預金保険の対象。

#### 「ころのリボン」

お子さまへ、お孫さまへ、ご家族へ、生前贈与をサポートします。

#### 簡単な手続き

資金の振り込みなど、贈与の都度、必要になる手続きのサポートが受けられます。定期的に書類が送られてくるので、贈与の機会を忘れることもありません。

#### 誰に、いくら贈るか指定可能

贈与する方は、あらかじめ贈与を受ける方の候補を指定できます。その中から、誰に、いくら贈与するか、毎年1回指定することができます。

#### 元本保証

全額預金保険の対象。

#### 「家族信託」

家族信託は財産（預金・不動産）の所有権を、「財産権」と「財産を管理運用処分できる権利」に分けて、後者だけをお子さまに渡すことができる契約です。これにより、財産所有者である親が認知症などを患っても、お子さまが信託された財産の管理運用処分ができます。

信託は早く始めましょう。準備しておけば安心です。  
～認知症と診断される前にできること、元気なうちからこそ考えましょう～

大地みらい信用金庫の  
**家族信託**

家族信託は、本人の代わりに、財産の管理や運用を任せると決めて、確実に実行してもらうための家族間の信託契約です。  
信託することで、本人の判断力がなくなった後でも、子供が継続的に財産管理を行って、資金の引出しや、自宅、アパートの管理・修繕や売却などが行えるようになります。  
いざという時に備えて、大地みらい信用金庫がご家族の安心の支えをサポートいたします。

**家族信託は認知症で困らない  
有効な財産管理方法です**

信託となる主な条件

- 委託者の所有財産を贈与いただきます。
- 委託者、受託者、信託財産の法定相続人全員の同意と同意書が必要となります。(オンラインも可)
- 事前に信託契約書(契)の作成が必要となります。
- ※ほかにも条件がございますので、詳しくは取扱店舗または弊社へお問い合わせ下さい。

認知症等で判断力がなくなった場合の  
資産凍結トラブルをご存じですか？

● 認知症になると凍結される財産は？

1. 預貯金(金融機関口座)
2. 不動産(自宅・アパート・土地など)

本人が亡くなったときも、たとえ凍結があっても

- ・ 普通預金 ← お金の引き出し手続きができません
- ・ 定期預金 ← 解約手続きができません!
- ・ 信託預金 ← 解約手続きができません!
- ・ リフォーム・修繕ができません!
- ・ 賃貸契約ができません!

※ 大地みらい信用金庫では、認知症等対策を主目的とした「家族信託」の信託口座開設のご相談を承ります。取り扱い店は裏面をご覧ください。

#### (家族信託の特徴的な事項)

##### 柔軟な財産管理

ご家族に負担をかけずに、親の入院費用や今後の生活費について管理できます。

##### 認知症等による資産凍結回避

認知症などにより判断力が低下した親の代りに自宅の売却などの管理ができます。

##### 円満・円滑な資産承継

資産を渡す側である親が、遺産分割の内容を決めておくことで、将来の相続発生時の親族間での相続争いによる、資産凍結のリスクを減らすことができます。

※しんきん相続信託「ころのバトン」、しんきん暦年信託「ころのリボン」は全店舗で取り扱いしております。

※「家族信託」は本店・釧路支店・札幌支店・山の手支店において取り扱いをしております。

※「遺言信託・自社株承継信託・遺産整理業務」は、本店・中標津支店・釧路支店・鳥取西支店・札幌支店・山の手支店の6店舗にて取扱い。

# 地域の価値向上に向けた取り組み

## 地域の魅力発信に向けたアプローチ

～地域商社「株式会社イーストフロント北海道」との連携～

人口減少、基幹産業の低迷など地域を取り巻く環境が厳しさを増す中、これまでの金融の枠組みを超えて、地域と市場のハブとなる役目を担うことを目標に掲げ2022年7月1日に「株式会社イーストフロント北海道」を当金庫の100%出資子会社として設立しました。

魅力ある特産品や、自然、歴史、文化などの観光資源を国内外に向けて情報発信し、お客さまのビジネス機会の創出や地域活性化につながる事業に取り組みます。

### 事業内容のスキーム



### 令和4年度の取り組み



- ・ホームページ、SNSなどを活用した情報発信
- ・他金庫と連携した物産展や、商談会などを通じて地域特産品をアピール

# 地域産業×デジタル化に向けた取り組み

## 新たな産業創出・地域の人財育成のお手伝い

### NoMaps釧路・根室への参画

2016年から札幌で開催されているNoMapsと連携し、当地域の基幹産業である水産業、酪農業、そして観光業とIT・IoT・AI等の情報技術を融合させることで、新たな産業の創出や地域で活躍する人材を育成することを基本テーマに、2019年からNoMaps釧路・根室を開催しています。2022年度は3年ぶりのリアル開催(オンライン併用)となり、開催場所も初めてとなる、中標津町にて実施いたしました。

#### 高校生ビジネスコンペティション

11月15日(火) 12:00~18:00  
10校 22チーム 118名 参加  
場所: トーヨーグランドホテル



可能性の音が、道を拓く。  
**NoMaps 釧路・根室 2022**  
2022. 11/15(火)~17(木)  
テーマ 「次世代へつなぐ地域デザインを共創する」  
11/15: 高校生ビジネスコンペティション  
11/16:17: カンファレンス  
開催日未定: ミートアップ  
お問い合わせ: NoMaps 釧路・根室 実行委員会事務局  
お問い合わせ先: NoMaps 釧路・根室 参加申込みフォーム

#### カンファレンス01~09

11月16日(水) 11:00~17:00  
11月17日(木) 09:30~17:00  
場所: ウェディングプラザ寿宴

#### 副賞ツアー

【最優秀賞】厚岸翔洋高校  
2月1日(水) 札幌 クリプトン本社見学  
【優秀賞】中標津農業高校、標茶高校  
3月23日(木) 地域産業ツアーin根室



さばて  
NoMaps 釧路・根室 2022  
アフターパーティー  
2023.02.25 SAT  
18:00-22:00  
@ 港まちベース 946BANYA

#### アフターミートアップ

2月25日(土) 開催  
場所: 港まちベース946BANYA



対象学年 小4~6  
親子で作ろう!  
懐かしのブロック崩し  
プログラミング  
親子無料体験教室  
スクラッチを使って、オリジナルゲームを作ります  
受講生募集! (大人と2人1組)  
12月17日(土) 会場: 釧路市立春採中学校 2階コンピュータ室  
午前部 9:30~12:00 定額は 有1000円  
午後部 13:30~16:00 定額は 有1000円  
お申し込み・お申し込み QRコード  
主催: 一般財団法人学術振興センターチーフ・グループ  
後援: NoMaps 釧路・根室 2022 実行委員会

#### 親子プログラミング教室

12月17日(土) 開催  
場所: 釧路市立春採中学校

#### 企業合同コンソーシアム発表会

3月24日(金) 開催  
北海道大学Ambitiousリーダー育成プログラム  
(オンライン開催)



北海道大学  
物質科学フロンティアを牽引する  
Ambitious リーダー育成プログラム

#### 企業コンソーシアム発表会

道東におけるホタテガイ廃材を活用した  
高純度人工方解石の生産と産業利用

令和5年3月24日(金)  
13:30~14:30 (開場 13:15)

オンライン開催・参加無料

主催 物質科学フロンティアを牽引する Ambitious リーダー育成プログラム

後援 NoMaps 釧路・根室 2022 実行委員会



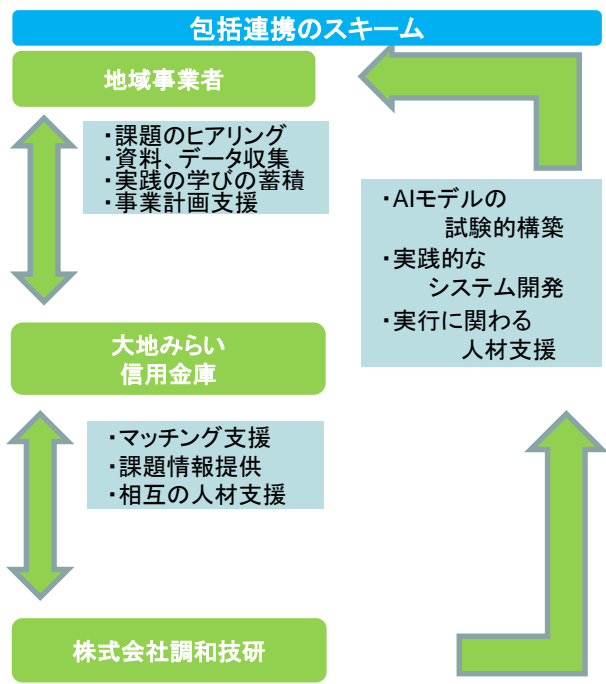
# 地域産業×デジタル化に向けた取り組み

## 経営効率化、課題解決、生産性向上に向けたお手伝い

～AIやIT技術導入による人材不足解消や競争力強化に向けた取り組み～

当金庫はAIやIT技術の活用による、地域産業の競争力強化やデジタル人材の育成に向けて株式会社調和技研と2021年12月28日に包括連携協定を結び、実際にヒアリングした地域企業の課題に対し、AIによる効率化の提案や実践的な解決方法を提示しています。

令和4年度は、株式会社調和技研や札幌市などが連携し運営している「札幌AI道場」に参画し、当庫取引先企業(水産加工業)の課題解決および、人口知能開発やデジタル人材の育成につながる取り組みに挑戦しました。



## 札幌AI道場における取り組み



# 地域経済の活性化に向けた取り組み

## 金融・経済リテラシーセミナー

### ①自治体向け資産運用管理・金融経済リテラシー向上のための研修

自治体の財政事情が厳しくなる中、当金庫が有する資産運用管理のノウハウを通じて、自治体における資産運用管理方法の現状分析と課題の抽出や、金融市場情勢を通じた経済全体の動向など、研修支援に取り組んでいます。

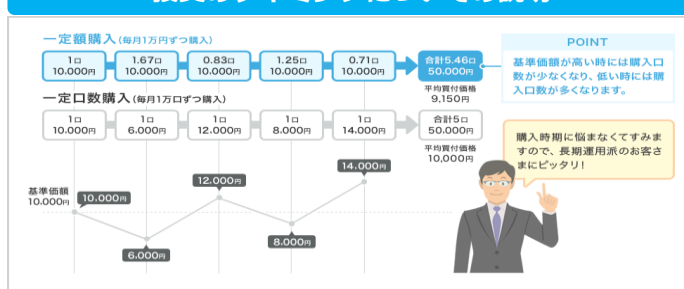
(2022年度の実施事例)

- 講座 羅臼町財政運用研修(全2回)
- 日時 2022年6月28日(第1回開催)  
2022年7月26日(第2回開催)
- 講師 大地みらい信用金庫 資金証券部  
常勤理事 兼 資金証券部長 岸部 芳洋  
企画役 古川 智之
- 場所 大地みらい信用金庫 羅臼支店 2Fロビー

説明会の様子(当庫 羅臼支店)



投資のタイミングについての説明



### ②地域住民向け資産形成・金融経済リテラシー向上のための研修

人生100年時代におけるライフプラン設計において、自治体と連携し、地域住民の資産形成支援に取り組んでいます。

説明会の様子(根室市役所)



(2022年度の実施事例)

- 講座 根室市成人学校 ライフデザイン講座(全3回)
- 日時 2023年2月8日(第1回開催)、2023年2月15日(第2回開催)、2023年2月22日(第3回開催)
- 講師 大地みらい信用金庫  
お客さまサポート部(部長 石崎 義人、次長 金沢 雅弘)/資金証券部(池田 拓)
- 場所 根室市役所 会議室

# 地域の面的再生への取り組み

## KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークの取り組み①～付加価値向上～

～食や観光など地域資源の魅力発信による地域活性化(海外への挑戦)～

「根室・釧路」の魅力ある「食」や「地域資源」について付加価値を高め、地域の活性化につなげることを目的に平成24年12月にKONSEN(根釧)魅力創造ネットワークを設立しました。毎年新たな課題に挑戦し、料理方法の提供や観光を含めた地域のストーリー性の発信を行ってきました。3年ぶりの出展となったFOODEX JAPAN2023では、コロナ禍で変化した国内外市場の実態や、食と観光を一体とした地域資源の魅力発信に取り組みました。

(会員数:食関連事業者36先、観光関連事業者16先、支援機関17先 合計69先)

FOODEX JAPAN2023の様子



開催期間: 令和5年3月7日(火)～10日(金)

# 地域の面的再生への取り組み

## KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークの取り組み②～観光分野～ アウトドアガイドセミナー・フィールドワーク／地域英語ガイド研修の開催

当金庫では観光を根釧地域の主要産業の1つとするべく、「アウトドアガイドセミナー・フィールドワーク」や「地域英語ガイド研修」の開催を通じて観光人材の育成に取り組んでおります。環境変化に伴い地域の基幹産業の状況が一層厳しくなる中、観光産業に注力し国内外の旅行客を地域に呼び込むことで、他の産業にも好循環を生み出し、地域全体を活性化させることをねらいとしています。

### 地域英語ガイド研修

**講師** 荒井 一洋 氏  
(北海道アドベンチャートラベル協議会 会長)

**場所** 浜中町 霧多布湿原センター

**日時** 令和5年2月6日(月)

### アウトドアガイドセミナー・フィールドワーク

**講師** 安藤 誠 氏 他2名  
(北海道知事認定マスターガイド)

**場所** 鶴居村 ヒッコリーウィンド 周辺

**日時** ①令和4年4月23日(土)～24日(日)  
②令和4年12月2日(金)～3日(土)

### 各セミナー・研修会の様子



# 地域の面的発信への取り組み

## 地域の魅力ある観光資源の発信

知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイの立ち上げにかかわり、フットパスを中心とした地域の観光資源を磨き、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある空間づくり」に携わる活動を支援しています。

シーニックバイウェイ(Scenic Byway)とは…

景観・シーン(Scene)の形容詞シーニック(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウェイ(Byway)を組み合わせた造語。地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、個性的で活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取り組みです。2023年4月現在で14の指定ルート、3つの候補ルートがあり、約500団体が活動しています。知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイについては令和4年12月の協議会にて正式な指定ルートに認定されました。釧路・根室エリアでは、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイに次いで2つ目の認定となりました。

### 知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイの活動



フットパスツアーの開催



観光ルートマップの作製



指定ルートの認定式

# 外部機関との連携を通じた地域活性化

## 大学との連携による地域人財育成事業および地域貢献事業



根室・釧路  
地域の学生

地域住民  
医療関係者



大学の高度な研究を知る・体感する・考える機会の創出による学びの機会の提供

最新の医療情報などの知見や、医科大学生の地域医療への関心を高める場の提供

持続可能な  
地域の実現

北海道大学

札幌医科大学

研究シーズと市場ニーズのマッチング、人材育成などにむけた包括連携協定

大地みらい  
信用金庫

保険・医療・福祉の向上による地域社会の発展にむけた包括連携協定

地域みらい創造センター 札幌オフィスの役割

～大学や各種機関とのコーディネート～

自治体間・企業間連携体制の構築に向けて根室・釧路地域の魅力・資源・可能性を札幌圏や他地域の人々・企業に伝え、交流活性化のサポートに力を込めています。

各大学と民間との連携サポート

各大学と連携し、地域の関係団体、企業・事業者へ専門的知見や研究成果を波及させる役割を担っています。

事業創造・企業価値創造サポート

特許庁、日本弁理士会、北海道発明協会と連携し、中小企業・事業者において知的財産権の活用を図るための取り組みをしています。中小企業などが有する特許庁の財産的価値を専門家による評価分析を行い、今後の企業経営戦略の作成支援をしています。

# 外部機関との連携を通じた地域活性化

## 札幌医科大学との連携協定事業

大地みらい移動医科大学 ～地域医療のみらいに向けて～

札幌医科大学と大地みらい信用金庫は、北海道および地域の保健・福祉・医療の向上に資することを目的に、包括連携事業として「大地みらい移動医科大学～地域医療のみらいに向けて～」と題し、札幌医科大学が持つ最新の医療情報、知見等を根拠地域の医療・介護関係者に提供、共有する取り組みを行っております。

■講演者 井平光氏

札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 講師

■テーマ 「科学的根拠に基づく高齢期の介護予防について」

■日時 令和4年10月29日(土) 15:00～16:30

■主催 札幌医科大学 大地みらい信用金庫 一般財団法人 大地みらい基金

■参加 約50名(会場・オンライン視聴)

■アプリケーション ZOOM

井平氏による講演



認知症予防運動について実践を交えた内容

**認知症予防運動について実践を交えた内容**

**コグニサイズ** 運動課題・認知課題。これらを両方同時に行い、心身の機能を効率的に向上させます。

<b>運動課題 からだを使う</b> イラスト: 階段を上る人 エクササイズ Exercise	<b>認知課題 あたまを使う</b> イラスト: 数字を覚える人 100から5ずつ引いていくと... 100, 97, 94, 91, ... えーっと... コグニション Cognition
+	
<b>コグニサイズ</b> 頭を使いながら運動	

# 外部機関との連携を通じた地域活性化

## 北海道大学・地域協働推進機構との連携協定事業

### 北海道大学特別出前講座

当金庫は北海道大学産学・地域協働推進機構と平成23年10月に連携協定を締結し、研究シーズと市場のマッチング、知的財産の活用、人材育成などの分野で連携しています。本事業は高校生を対象に、大学の高度・専門的な研究等に触れ、地元の課題解決に向けたアプローチの手法について学ぶことや、学生自身の適性や興味・関心への理解を深め、将来の進路を考える機会の創出を、地元の高校と連携しながら実施しています。

- 講演者 北海道大学 触媒化学研究所 教授 福岡 淳 氏
- テーマ 「失敗からの発想転換～触媒による野菜の鮮度保持とバイオマス変換～」
- 日時 令和5年2月21日(火) 13:20～15:10
- 場所 釧路湖陵高校 体育館
- 共催 北海道大学産学・地域協働推進機構  
大地みらい信用金庫、一般財団法人大地みらい基金

### ゼオライトの分子模型をつくる体験実習(化学反応における触媒の性質について)



### 触媒の用途事例について

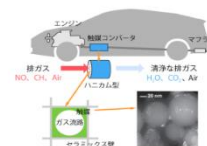


[https://ecnavi.jp/mainichi\\_news/article/08515c48bca76fa541486bb3863e97bb/](https://ecnavi.jp/mainichi_news/article/08515c48bca76fa541486bb3863e97bb/)

ガソリン、プラスチック

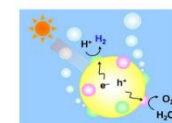


<https://ilustkun.com/wp-content/uploads/2018/06/ilustkun-00398-microwave.png>



<https://www.i-pros.jp/technote/basic-catalyst/>

自動車排ガス浄化  
世界の触媒売上高60%



信州大学



<https://www.webcg.net/articles/gallery/4376/#image-1>

燃料電池

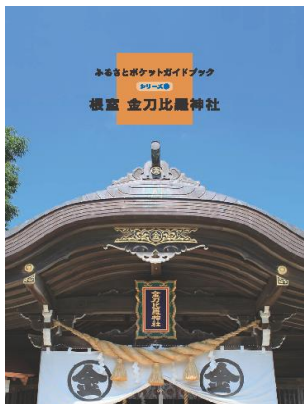
触媒の用途：  
燃料・化学品合成  
環境汚染物質の除去

# 地域価値向上に向けた情報発信

## ふるさとポケットガイドブックの発刊

大地みらい信用金庫・一般財団法人大地みらい基金では根釧地域以外ではあまり知られていない、魅力ある歴史や文化、物語にスポットを当て魅力を発信する小冊子「ふるさとポケットガイドブック」をシリーズで発刊しております。

第1号



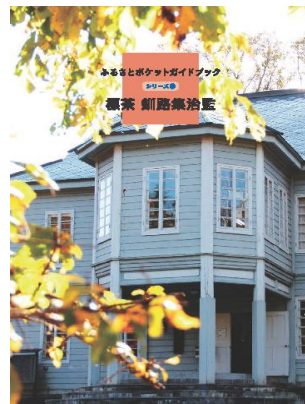
第2号



第3号



第4号



第5号



第6号



第7号



### 既発行ふるさとポケットブック

- 第1号 「根室 金刀比羅神社」
- 第2号 「上武佐 ハリストス正教会」
- 第3号 「東北海道の古都 あつけし」
- 第4号 「標茶 釧路集治監」
- 第5号 「伊能忠敬の蝦夷地測量 野付半島の幻の街キラク」
- 第6号 「前田正名と釧路の製紙業」
- 第7号 「北海の狩人 オホーツク文化」

# 地域価値向上に向けた情報発信

## みらいレポートの発刊

大地みらい信用金庫では、ステークホルダーの皆さまに、地元の課題にも繋がる世界の潮流、国内外のトレンドのほか、地域の動きなどをわかりやすくお伝えするために、独自の調査に基づく「みらいレポート」を定期的に発刊しています。

### ※過去発刊号より一部抜粋

#### MIRAI REPORT 011

##### 道産水産物の輸出拡大に向けた鮮度評価法の標準化の取り組み

【はじめに】

かつては日本固有の食文化だった寿司や刺身は、今は世界的にポピュラーな存在となり、東南アジアを中心に消費が拡大しています。日本からの生鮮水産物の輸出量は増加傾向にあり、北海道でも道産水産物の海外輸出が積極的に行われています。

一方で、生鮮水産物の鮮度評価はこれまで明確な方法がなく、「臭い」や「見た目」といったヒトの感覚で判断されてきました。日本の市場ではいわゆる「目利き」と呼ばれる人々が鮮度や品質を判定してきましたが、海外諸国では鮮度を判断できる目利きが少なく、海外輸出において販路拡大の障害となっています。

そこで、2022年3月、鮮度の科学的鮮度指標として新たに試験法 JAS（日本農林規格）に制定されたのが、「K 値」を用いた鮮度測定法です。本レポートでは、K 値の試験法 JAS 登録にかかわる取り組みの概要や、活用方法、これからの取り組みについて、北海道立工業技術センターの吉岡 武也 氏にお話を伺いましたので、ご紹介します。

北海道立工業技術センター

研究開発部 食産業技術支援グループ

研究主幹 吉岡 武也 氏

1962年 函館市生まれ

1985年 北海道大学 水産学部 水産食品学専攻 修了

1987年 北海道大学大学院 水産学研究所修士課程 水産食品学専攻 修了

2002年 北海道大学大学院 水産学研究所博士後期課程

生命資源科学専攻 修了

【職歴】

1987年 日本水産株式会社 入社

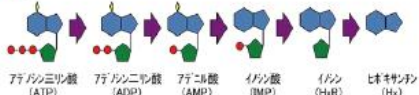
1999年 函館地域産業振興財団（北海道立工業技術センター）研究開発部 水産食品加工科

2012年 現職

主な研究に、生鮮魚介類の品質評価と鮮度保持技術の開発や、スルメイカ等魚介類の死後変化と鮮度保持、スライアースによる魚介類の鮮度保持等がある。

1. K 値とは

「K 値」とは、魚肉中のエネルギー源であるアデノシン三リン酸（ATP）の分解物（イノシンとヒポキサンテン）の比率を示したものです。



$$K 値 = \frac{HxR+Hx}{ATP+ADP+AMP+IMP+HxR+Hx} \times 100\%$$

■発刊号 MIRAI REPORT #011（2022.8）

■テーマ 道産水産物の輸出拡大に向けた鮮度評価法の標準化の取り組み

■インタビュー 北海道立工業技術センター 吉岡 武也 氏

■内容

「K 値」を用いた鮮度評価法を標準化することにより、魚の品質を科学的な数値で保証できるようになり、公正な取引やブランド・差別化が期待できるようになる。また鮮度保持装置・技術の効果や性能の証明にもなり社会実装へとつながられる。

### 過去の発刊テーマ（一部抜粋）

#001 飛騨高山市の魅力からみた根釧地域の可能性

「本物にかけるモノづくり、コトづくりへの拘り」

#002 地域金融機関による中小企業の知財戦略に向けた取り組み

#004 これからの根室の未来に必要な水産増養殖とは何か

#005 事業継続、職場活性化の鍵になり得る外国人材

#007 ローカルSDGs～環境で地方を元気にする地域循環共生圏

#008 根室地域と「脱炭素社会」(ブルーカーボンの可能性)

# 外部機関との連携状況

地域の企業やお客さまが抱える課題の解決や、地域資源の情報発信・発掘、事業承継、人材育成の支援充実を図るために様々な機関との連携をしています。

連携機関名	提携内容	連携機関名	提携内容
北海道大学産学・地域協働推進機構との連携協定 《平成23年10月 締結》	産学連携推進機能を相互互換し、研究ニーズと市場ニーズのマッチング、知的財産の活用、人材育成などの分野で具体的な連携を図っています。	一般社団法人 北海道事業承継センターとの連携協定 《平成28年3月 締結》	地域中小企業の事業承継に関するコンサルティング機能、マッチング機能を高めることでM&Aの促進や事業承継支援に取り組んでいます。
北海道根室振興局・釧路総合振興局との包括連携協定 《平成24年3月 締結》	根室・釧路地域の活性化に向けて、産業・雇用の創出と人材の育成を基本コンセプトとし、地域資源の価値向上ならびに根室・釧路地域の更なる発展にむけ取り組んでいます。	一般社団法人 北海道事業承継センターとの協定締結によるしんきん支援ネットワークへの参画 《平成28年4月 締結》	事業拡大や新分野進出のためのM&A、円滑な事業引継ぎ等のニーズには弊金庫単独の情報では対応が難しく、北海道全域に広げるために道内8信用金庫によって広域連携ネットワークを形成し支援体制を構築しました。
札幌医科大学との包括連携協定 《平成25年6月 締結》	産学の連携を通じて相互の発展に寄与するとともに、北海道の保健・医療・福祉の向上など、地域社会の発展に資することを目的として包括連携協定を締結しております。	(株)日本政策金融公庫との業務連携・協力に関する覚書 《平成31年3月 締結》	根釧、札幌地域における中小企業者等への資金供給、情報提供等相互に協力し、支援する体制をとりました。農業者を対象とした協調商品を創設し、円滑な資金提供を通じてサポートを推進していきます。
中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業「地域プラットフォーム」への参画 《平成25年9月 締結》	多様化する中小企業の経営支援ニーズに対し、専門家派遣制度の活用、各参画機関との情報交換を通じ、新事業展開、創業、経営革新等の高度・専門的な経営課題に対応する体制を整備しております。	株式会社調和技研との包括連携協定 《令和3年12月 締結》	AI・IT技術と金融サービスを合わせて活用し、地域産業の競争力強化やデジタル人材の育成に向けて、相互に協力し協働事業を推進することを目的として包括連携協定を締結しております。
一般社団法人中小企業診断協会北海道との業務提携 《平成27年7月 締結》	各種セミナーの開催や人材育成に関する講師の派遣、経営相談会の開催、中小企業診断士の派遣、経営改善支援を通して、中小企業の抱える様々な課題解決を図っています。	環境省北海道地方環境事務所への在籍出向 《派遣期間令和4年4月～令和6年3月》	2050年のカーボンニュートラル実現に向け、脱炭素につながるお客様支援内容の質の充実と、環境省との人脈形成を通じた情報収集レベルの向上を狙いとして、令和4年度から「地域脱炭素創生室」へ職員を1名派遣しております。
(株)アクトナならびに(株)北海道新事業創造プラザとのクラウドファンディングを活用した地方創生に関する連携協定 《平成28年1月 締結》	クラウドファンディング活用による地域資源の掘り起こしや販路拡大・商品開発などのマーケティングや多様な経営サポートを通じた地場企業の支援を図ります。		



<https://www.daichimirai.co.jp>